

2023. 3. 13

Report from AKATSUKA PARK

発行：赤塚公園ニリンソウを守る会

●植物モニタリング活動 月間中の「春の野草観察会」に切り替え（下記参照）

●ニリンソウ月間 2023 3/18（土）～4/16（日）

期間中の土・日 10：00～12：00 大門自生地でのニリンソウガイド

期間中の毎月曜日 9：00～12：00 春の野草観察会 ため池公園スタート

★どの活動も、飛び入り参加歓迎！ 雨天は小雨でも中止

<問合せ：赤塚公園サービスセンター03-3938-5715>

ニリンソウに 恵みの雨

3/13の朝は、いまにも雨が落ちてきそうな暗い空。いつもは朝早くからため池の周りをにぎやかしている釣り人はこの日はゼロ。人がいないので安心したのでしょうか、カワウが水面に降りてきて、潜っては浮かび、浮かんでは潜って、魚を獲っていました。

スタート時間になると雨がぽつぽつん。今年に入ってから東京の降雨量は少なく、地面はぱさぱさの乾燥状態なので、比較的湿り気のある土地を好むニリンソウにとっては恵みの雨です。でも、メモがとれないので観察活動は「小雨でも中止」としてきたのですが、8名の参加者はやる気満々。「天候を見計らいながら歩こうか」とスタートしました。



←季節の交替

ため池公園のウメはもうすっかり花を終えました。その隣のサンシュユは今が盛りとばかりに黄色い花を咲かせています。そんな中で、傘をさしての観察活動でした。



赤塚城址北斜面（郷土資料館裏）のニリンソウ 群落がつながってきた



↓タラノキが新芽を吹いています 毎年、芽を摘んでいく人をお願い
今年はやめてください！



赤塚公園内に11種もあった絶滅危惧種の植物 今年もしっかり観察しよう！

東京都による赤塚公園の生物多様性保全事業の計画策定に当たって2017年に行われた植物相調査では、「現地調査により確認された植物は、114科481種が確認された。絶滅危惧種は9科11種が確認された」と記録されています。正確には「準絶滅危惧種」以下のランクだとは思いますが、それでもすごいことです。

1. シダ植物アスカイノデ 2. シダ植物アイアスカイノデ 3. シダ植物ハリガネワラビ 4. ヒユ科ヤナギイノコズチ 5. キンポウゲ科ニリンソウ 6. ケシ科ヤマブキソウ 7. キツネノマゴ科ハグロソウ 8. ヒガンバナ科キツネノカミソリ 9. カヤツリグサ科ウキヤガラ 10. ラン科ギンラン 11. ラン科キンラン

このうち1～3番のシダ植物は同定が難しいので、観察活動の対象外、9番目のウキヤガラは観察できていませんが、城址にも大門にもごっそり生えていていつも見慣れている8番キツネノカミソリもそうだとはい！ 今更ながらですが、これはすごいことです。

↓ヒメカンスゲが咲いています。



ジャノヒゲに似た葉ですが、ジャノヒゲはキジカクシ科。このヒメカンスゲはカヤツリグサ科なので葉の手触りは少し硬く感じます。目立たない花ですが、これも赤塚公園でしか見たことがありません。

「公園」というと大名庭園や植物園が頭に浮かびますが、赤塚公園は都会では貴重な野草が生きている自然の公園です。これらを「雑草」扱にせず大事に守っているのが赤塚公園の特徴です。